

からくれなゐの影



空見やればその姿
馳せ 馳せ来る 彼方から

千里万里の向こうから
今日も誰かが挑み来る

望向天空的話那個身影
從遙遠彼方 飛馳而來

千里萬里的迢迢對面
今天也有誰前來挑戰

「見せばやな」の声をあげ

「やれ頬もう」の声をあげ

どこからともなくやってくる

その名もその影もまだ知らず

「見識一下」衆人高喊

「上啊加油」群起振奮

無論從何處都會趕來

未曾聽聞的那名字那身影

ああ此度も現れる
からくれなる の色を帶び

啊 這次也出現了
唐紅色的一陣風飄過

虚仮威しの妖怪か
身の程知らずの妖精か
果てはこれはこれはと
これこそが眞の強敵か

是虛張聲勢的妖怪麼
是毫無自知之明的妖精麼
結果這一次這一次會是
貨真價實的強敵麼

斯くも多彩な技を比べて

比試此般多彩的技巧

その奥義 その秘伝を 那奧義 那秘傳 如今更
今高らかに 高階
掲ぐは何符 詠うは何符 揭起的是什麼符 詠唱的
数えれば 是什麼符
さあさ来るその影は 如若細細數來
からくれなゐの色をして 看呀看呀飛來的那個身影
全身帶着唐紅色

何度倒し倒されたとて 無論打倒幾次被放倒幾次
またもや変わらぬ明日が 不變的明天依舊會到來
来る
その手にその「意味」握 那手中緊握的那「意義」
り締め
「我を見よ我を見よ」と 「看向我呀看向我呀」若
ぞ挑み来る 來挑戰還請便

からくれなゐの影 唐紅色的身影
新たな挑戦者の此処へ 趕向新的挑戰者的地方
泡沫の夢 泡沫的夢境
さあ勝利の野望を打ち碎 讓我來打碎你勝利的野心
け

己の意味を打ち立てて 確立起自己存在的意義
表演ってみせるが弾幕で 用彈幕表演給衆人看
これが我が身我が心と 這是我的身體我的心

声なき「弾」にぞ叫んだ 用無聲的子彈來嘶喊
る

ああ斯くも素晴らしい予定調和の味なるか 嘿嘿 如此真棒呀
要變成既定展開的感覺

故に全ての幻想は 因此所有的幻想們都
「今か今か」と待っている 「差不多到時間了麼」在
いつか己もその声を 等着
天高く挙げて見せようぞ 一定到時候讓你自己也喊
出那句話
望着高高的天空無可奈何

己の意義をただ只管に 自己的意義只是一味地
その意味 その思いを 那意義 那思想 遵循本能
本能のまま 紡ぐは何符 宣ぶは何符 編織的是什麼符 呼喊的是什麼符
紡ぐは何符 宣ぶは何符 編織的是什麼符 呼喊的是什麼符
重ねれば 交織起來的話
いざや問わんこの力 毋庸置疑的這份力量
我らが生きるこの空に 挥灑在我們生活的這片天空中

何度も倒し倒されたとて 無論打倒幾次被放倒幾次

ついには変わらぬ明日が 最終還是爲了不變的明天
ため
勝ちにも負けにも仔細な 不必拘泥於是勝還是敗
く
「我を見よ我を見よ」と 「看向我呀看向我呀」還
ぞ叫んだる 請盡情呼喊

からくれなゐの影 唐紅色的身影
新たな挑戦者の此処へ 趕向新的挑戰者的地方
邯鄲の夢 黃粱美夢
さあ惡しき企てを打ち碎け 讓我打碎你的邪惡企圖

空飛ぶ巫女のその周りへ 飛空巫女的是身邊
いざ集え 強敵は 召集而來的 無數強敵
からくれなゐ色の影と 成爲唐紅色的影子
なって

空見やればその姿 望向天空的話那個身影
馳せ馳せ 来る来る彼方 從遙遠彼方 不斷飛馳而
から
千里万里の向こうから 千里萬里的迢迢對面
さあ今日も誰かがまた挑 看吧今天又有誰前來再次
み来る 挑戰

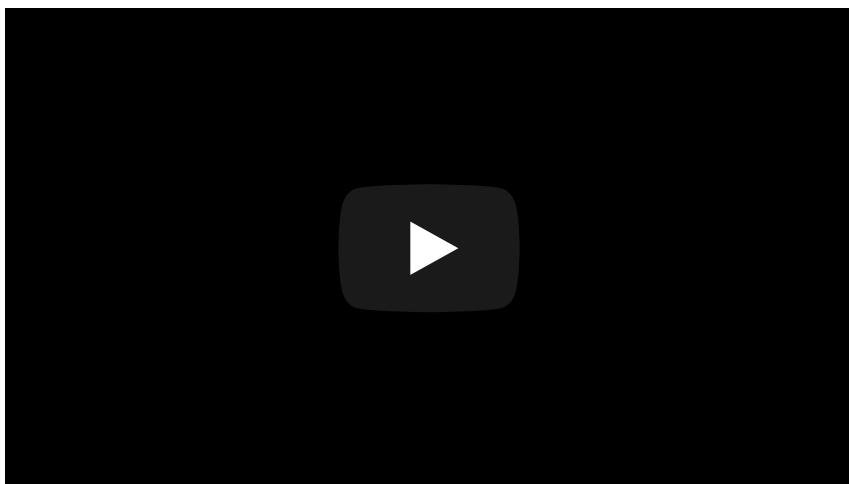
遊べ遊べよ幻想に
最後に残るはいざ知らず
今をただただ生きること
「我を見よ我を見よ」と
ぞ求めたる

在幻想中盡情遊戲吧
尚不知最後留下的會是誰
現在只求能活下去
「看向我呀看向我呀」敬
情祈求吧

からくれなゐの影
無限の挑戦者の此処へ
永遠の夢
さあ人よ全てを打ち碎け

唐紅色的身影
趕向無數挑戰者的地方
永遠的夢境
讓我打碎所有的人

アンノウンX ~Unfound Adventure (原曲)



《からくれなゐの影》，寫作漢字的話大概是「
唐紅 の影」，其中「ゐ」是歷史假名用法（歷史的仮
名遣い）中的一個假名，發音是ワ行イ段的「wi」，字
形來自草書的「爲」字，現代假名用法（現代仮名遣
い）中已經併入ア行的「い (i)」的音了，從而很少見
到。 唐紅 是種顏色 唐紅色，十六進制表示的話是 ■
#D93448。

這首歌的曲調來自格鬥作 TH12.3 《東方非想天則
～超弩級ギニヨルの謎を追え》的故事線最終章主題曲
《アンノウンX ～Unfound Adventure》。作為格鬥
作最終章，曲風非常熱血澎湃，令人想用咆哮體喊出
「か！ら！く！れ！な！ゐ！の！か！げ！」的程度。
《からくれなゐの影》這首的歌詞描繪飛空巫女博麗靈
夢和各種妖怪戰鬥比武的感覺，歌詞和曲風一樣激情熱
血，有違於巫女一向慵懶的作風（笑）。

關於「博麗靈夢」這個姓名，在幻想鄉中是這個名
字沒錯，而其姓來自「博麗神社」這一點，作為巫女很
不同尋常，因為神社的名字一般是供奉的神靈的名字。
結合一設中隱約提到過的先代巫女，二設中歷代巫女都
有博麗的姓，以及神主 ZUN 主筆的《儂月抄》中射命
丸文 提到過的：

これはそろそろ新しい巫
女を探さなきゃいけない
時期ってことか

もう何度目になるので
しょう
新しい巫女が新聞のネタ

這是意味着差不多到時間
該去找新的巫女的時期了
麼

這已經是第幾次了啊
要是新的巫女是容易作爲
新聞素材的人類就好了

になりやすい人間ならい
いのですが

加之神主ZUN也曾提到過現任巫女（靈夢）是僱傭而來的，從而一個推測是「博麗靈夢」這個姓名只是一個稱號，「靈夢」本人作為真正的人類，原本在幻想鄉之外可能另有別的姓名。

時值民國 108 年平成 31 年舊曆新年，以一首紅紅火火的歌，獻上對所有人鬼妖魔神怪獸靈的祝福和懷念。



happy new year! (Pixiv 72415177)

そら み
空見 やればその姿
すがた
は 馳せ は 馳せ来る かなた
千里万里の向こうから
から
今日も誰かが挑み来る

「見せばやな」の声をあ
げ

見せばやな：お見せした
いもの，想要给人看的东
西，古語用法。「見せ」
是動詞「見す」的未然
形，「ばや」是表願望的
終助詞，「な」是表詠嘆
的終助詞。

「やれ頼もう」の声をあ
げ

どこからともなくやって
くる

その名もその影もまだ
し知らず

「やれ」：幹啊，上啊。

「頼もう」：求你了。

「どこからともなく」：
不知道從何處而來。

「博麗靈夢」姓名參考上
述考據。

ああ此度も現れる
からくれなゐの色を帶び

虚仮威しの妖怪か

虚仮威し：虛張聲勢、狐
假虎威。讓愚蠢的人欽佩
的表面手段，徒有虛表沒
有實際內涵的樣子。

身の程知らずの妖精か

身の程知らず：沒有自知
之明的樣子

は
果てはこれはこれはと
まこと きょうとき
これこそが 真の強敵か

たさい わざ くら
かくも 多彩な技を比べて
おうぎ ひでん いま たか
その 奥義 その秘伝を 今 高らかに
かか なに ふ うた なに ふ
掲ぐは何符 謳うは何符
かぞ
数えれば
きた かけ
さあさ 来るその影は
いろ
からくれなゐの色をして

なん ど たお たお
何度倒し倒されたとて
か あす く
またもや 变わらぬ 明日が来る
て いみ にぎ し
その手にその「意味」握り締め
われ み われ み いど く
我を見よ 我を見よとぞ挑み来る

からくれなゐの影
かけ
あら ちようせん しゃ ここ
新たな挑戦者の此処へ
うたかた ゆめ
泡沫の夢
しょうり やぼう う くだ
さあ勝利の野望を打ち碎け

おのれ いみ う た
己 の 意味 を 打ち立てて

や 表演 ってみせるが 弾幕 で 表演 って：當て字「やつて」，幹，打。行動作爲表演。

これが 我が 我が 心と
声なき 「弾」 にぞ 叫ん
だる

こえ こえ さけ
弾：當て字，声，聲音。
子彈作爲聲音。

か す ば
ああ 斯くも 素晴らしき
は

よてい ちょうわ あじ
予定 調和 の 味 なるか

よてい ちょうわ
予定 調和： Pre-established harmony，
這個詞來自萊布尼茨的哲學思想「單子論」，認為每種事物實體都是只影響它本身的 單子(Monad)，單子間不存在相互作用和因果關係，但是所有單子在唯一存在下共同達成既定的和諧。現代日語的「予定調和」在此哲學思想的基礎上衍生出了接近於「事物無論如何開端最後都會發展爲模式化的結果」這樣的意思。

ゆえ すべ げんそう
故に全ての幻想は

すべ げんそう
全ての幻想：這裏所有的
幻想指幻想郷所有居民。

いま いま ま
「今か今か」と待って
いる

いま
「今か」：到了決定勝負
的時候了麼

おのれ こえ
いつか 己もその声を
てんたか あみ
天高く挙げて見せよう
ぞ

おのれ いぎ ひたすら
己の意義をただ只管に
いみ おも ほんのう
その意味 その思いを 本能のまま
つむ なに ふ さけ なに ふ
紡ぐは何符 宣ぶは何符
かさ
重ねれば
と ちから
いざや問わんこの力
われ い そら
我らが生きるこの空に

なん ど たお たお
何度倒し倒されたとて
ついには 変わらぬ 明日がため
か あす
勝ちにも負けにも仔細なく
われ み われ み さけ
「我を見よ 我を見よ」とぞ叫んだる

からくれなゐの影
かげ

あら ちようせん しゃ ここ
新たな挑戦者此處へ

かんたん ゆめ
邯鄲の夢

かんたん ゆめ
邯鄲の夢：現代漢語作

「黃粱一夢」，典出《枕中記》

あ くわだ う
さあ 悪しき企てを打ち
くだ
碎け

そらと みこ まわ
空飛ぶ巫女のその周り

そらと みこ
空飛ぶ巫女：靈夢能力的
描述是「擁有在天空飛行
程度的能力」。當然作為
幻想鄉最強的存在，其能
力不僅於此。

つど きょうてき
いざ集え 強敵は
からくれなゐ色の影と
なって

そら み すがた
空見やればその姿

は は く く かなた
馳せ馳せ 来る来る彼方から

せんり ばんり む
千里万里の向こうから

さあ きょう だれ いど く
今日も誰かがまた挑み来る

あそ あそ げんそう
遊べ遊べよ幻想に

さいご のこ し
最後に残るはいざ知らず

いま い
今をただただ生きること

われ み われ み もと
「我を見よ我を見よ」とぞ求めたる

からくれなゐの影

むげん ちょうせん しゃ ここ
無限の挑戦者の此処へ

えいえん ゆめ
永遠の夢

ひと すべ う くだ
さあ人よ全てを打ち砕け



自由回廊 (Pixiv 71671791)



幻想郷見聞録 (Pixiv 50981359)



ひとりの輪舞 (Pixiv 50078986)



sakura (Pixiv 72764504)



幻想の花霞 (Pixiv 67127825)

